

Genesis Move
LED-MS20R

インストール& ユーザーガイド

目 次

1. 安全に関する記述
2. 製品の技術的仕様
3. 本体の設置
4. 本体の操作方法
5. トラブルシューティング
6. 本体のメンテナンス

1. 安全に関する記述



WARNING

本製品をご使用になる前に、この説明書を必ずよくお読みください。
単なる使用方法だけでなく、より長く安全にお使いいただくための諸注意事項が記載されています。

- 後で参照するために、この説明書は常に本体に近い場所に保管しておいてください。もしも本製品を他の人に譲る場合は、必ずこの説明書を付属してください。
- まれに輸送中の事故等で本体が破損している恐れがあります。最初に本体を開梱するときには特に注意し、傷やダメージ等がないか確認してください。
- 本製品は輸入品ですが、日本国内の電源事情(100V 50/60Hz)にあわせて製作されています。他の電圧等で使用しないでください。
- 本製品をディマーなどの調光装置に接続しないでください。故障の原因となります。
- 本製品の電源コードは、アース端子が別に出ています。感電を避けるために、これらのアース端子をしっかり接続してください。
- 本製品は屋内使用専用モデルです。また、屋内においても湿度の高い場所等では使用しないでください。
- 本製品は発熱します。設置する場合には少なくとも天井面や壁面等の閉鎖空間から50Cm以上離してご使用ください。また、設置する際ファンの排気口がふさがれていないかどうかをよくご確認ください。
- メンテナンスや各種クリーニングを行う場合は、必ず作業の前に「電源プラグを抜いて」ください。
- 本製品は発熱します。設置場所の付近に燃えやすいもの等がないかどうか、必ず確認してください。
- 本製品を壁面や天井に取り付ける際は、かならず指定の安全ワイヤーをご使用ください。また、ヨーク（首の振る）部分だけで製品を持たないようにしてください。
- 本製品の最大許容環境温度は40℃です。設置前に温度環境を計り、これ以下温度の場所に設置してください。また、この温度以上の場所では使用しないでください。
- 本製品は最大85℃まで温度上昇します。電源投入中は絶対に素手で触れてはいけません。また、ランプ交換等で本体キャビネットを開ける場合は、電源を切ったあと最低でも15分程度待ち、十分な冷却を待ってから行ってください。
- 本体の操作中に動作がおかしいと感じたら、直ちに電源を切り、電源プラグを抜いてから販売店もしくはグラフィカカスタマーサービスにご連絡ください。本体にはユーザー自身でサポートできる部品は一切ありません。ユーザー自身で修理を試みないでください。
- 電源コード等を使用中にいたずらに触ることはおやめください。感電の危険性があります。
- 本体のハウジングに深刻なダメージがある場合は、本体を使用しないでください。
- 本体の光源には高輝度LEDを使用しています。直接覗くことはおやめください。
目や脳に対して重大なダメージを与える恐れがあります。

【危険】

- 感電や火災等の重大事故を避けるため、本製品を雨や多湿の環境には絶対に設置しないでください。
- 電源を切って5分以内は、本体のキャビネットを開けないでください。やけどの危険性があります。
- 本体のハウジング、内部のレンズ等にダメージが見られる場合は直ちに交換を申し出てください。

【注意】

本製品にはユーザーご自身で行えるサービスパーツは一切含まれていません。ご自身で修理を試みることは絶対におやめいただき、ご購入の販売店もしくはグラフィカプロダクトサービスにご連絡ください。

【設置の際の留意点】

本体の設置について、ユーザーであるあなたが十分な知識と経験を持っていないと判断した場合は無理せずなるべく専門業者に依頼するなどしてください。無理に自分で行うと落下等の危険があります。

【設置工事業者の方へ】

本製品は専用のブラケット（オメガクランプ）を使い、本体に対して固定します。また、このオメガクランプは舞台用クランプ等を使ってバトン等に設置します。設置の際には本体が完全に固定されているか、または振動等により落下しないかどうかをよく確かめてください。

クランプ等を使用する際には本体重量の10倍以上の耐荷重があるものを、また安全ワイヤーは12倍以上の耐荷重が必要です。本体の安全性を確保するために必ずお守りください。

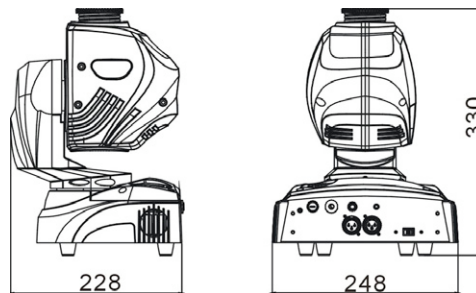
また、設置する際には設置場所の下側に人がいないかどうか十分確認してから行ってください。

2. 製品の技術的仕様

- 本製品はDMX512デジタル照明信号伝送方式の業務用途演出用照明器具です。
- 本体にはマスター／スレーブ機能があり、複数の本製品を相互接続し、内蔵マイクフォロン経由で音楽に同調した内蔵プログラムを再生することが出来ます。
- 本体内蔵のプリプログラムには複数のチェイスパターンで構成されています。
- 本製品はDMX512に対応したコンソールを使って個別にコントロールできます。
- 本製品を相互接続する際は、推奨のDMXケーブルを用いてください。マイクロフォンケーブルは信号伝送に悪影響を与えるため使用しないでください。

【製品技術仕様】

- 入力電源：100VAC 50/60Hz
- 使用DMXチャンネル数：7
- パン／チルト角度：パン=270° チルト=540°
- 使用光源：CREE社製20W 高輝度LED
- 本体寸法および重量：248×228×330mm、約5.6Kg

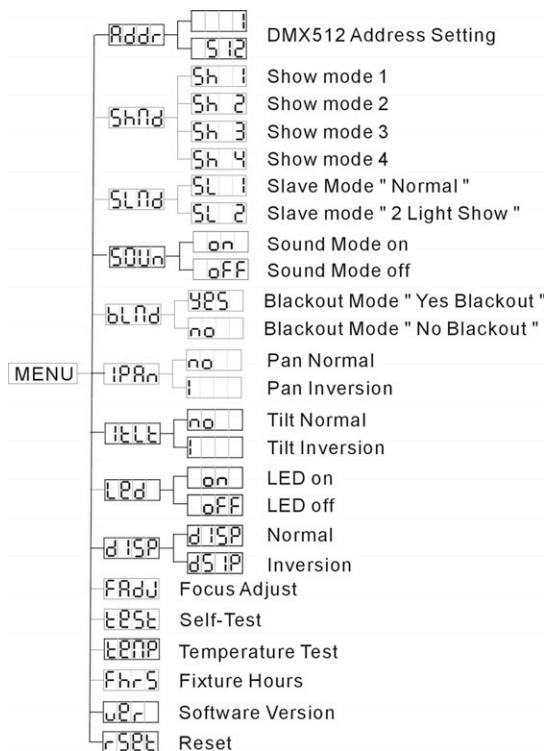


3. 本体の設置

3.1 メイン機能

次のツリーにおけるメインファンクションを選ぶには**MENU**ボタンを目的の機能に到達するまで数度押し、**ENTER** ボタンを押します。（この間、ディスプレイは点滅しています）

次に**DOWN / UP** ボタンを押して、機能中のパラメーターを調節、またサブメニューから選択し、さらに**ENTER** ボタンを押すと完了します。あるいは何もせず8秒以上経過すると自動的にメインファンクションに戻ります。モード選択をしない場合は単に**MENU** ボタンを押します。



Addr DMX 512アドレスセッティング

MENU ボタンを数度押し、**Addr** を表示させてから**ENTER** ボタンを押します。（このときディスプレイは点滅しています）**DOWN / UP** ボタンを押し、任意のDMX512 アドレスを指定します。任意のアドレスを表示したら、**ENTER** ボタンを押すことで確定します。また、このとき何もしない状態で8秒以上経過するとメインメニューに自動的に戻ります。メインメニューに戻りたい場合は**MENU** ボタンを押します。

Shnd ショーモード

MENU ボタンを数度押し、**SLnd**を表示させてから**ENTER** ボタンを押します。（このときディスプレイは点滅しています）**DOWN / UP** ボタンを押し、**Sh 1**、**Sh 2**、**Sh 3**、**Sh 4**のいずれかのショーモードを選択します。

Sh 1 ショーモード1：灯体が床面に設置されている場合の動作を想定しています。チルトの動作角度は約 210°です。

Sh 2 ショーモード2：灯体が天井に設置されている場合の動作を想定しています。チルトの動作角度は約 90°です。

Sh 3 ショーモード3：灯体がステージスピーカー等の上に設置されている場合の動作を想定しています。（場所的には舞台の上下で前面です）

パン動作角度(右-左-右)は約160°、チルトの動作角度は約 90°(60°=水平上部、30°=水平下部)です。

Sh 4 ショーモード4：灯体がステージ前面の天井に設置されている場合の動作を想定しています。（場所的には舞台の上下で前面です）

パン動作角度(右-左-右)は約160°、チルトの動作角度は約 90°(75°=前側、15°=後側)です。

選択が終了したら**ENTER** ボタンで確定するか、何もしない状態で8秒以上経過するとメインメニューに自動的に戻ります。メインメニューに戻りたい場合は**MENU** ボタンを押します。

SLnd スレーブモード

MENU ボタンを数度押し、**SLnd**を表示させてから**ENTER** ボタンを押します。（このときディスプレイは点滅しています）

DOWN / UP ボタンを押し、**SOUND** (ノーマルモード) もしくは **BLIND** (2ライトショー)のどちらかのモードを選択します。選択が終了したら**ENTER** ボタンで確定するか、何もしない状態で8秒以上経過するとメインメニューに自動的に戻ります。メインメニューに戻りたい場合は**MENU** ボタンを押しします。

SOUND サウンドモード

MENU ボタンを数度押し、**SOUND**を表示させてから**ENTER** ボタンを押しします。(このときディスプレイは点滅しています)

DOWN / UP ボタンを押し、**on** (サウンドモード有効) もしくは **off** (サウンドモード無効)のどちらかのモードを選択します。選択が終了したら**ENTER** ボタンで確定するか、何もしない状態で8秒以上経過するとメインメニューに自動的に戻ります。メインメニューに戻りたい場合は**MENU** ボタンを押しします。

BLIND ブラックアウトモード

MENU ボタンを数度押し、**BLIND**を表示させてから**ENTER** ボタンを押しします。(このときディスプレイは点滅しています)

DOWN / UP ボタンを押し、**OFF** (ブラックアウトモード有効) もしくは **on** (ブラックアウトモード無効) のどちらかを選択します。選択が終了したら**ENTER** ボタンで確定するか、何もしない状態で8秒以上経過するとメインメニューに自動的に戻ります。メインメニューに戻りたい場合は**MENU** ボタンを押しします。

IPRN パン反転機能

MENU ボタンを数度押し、**IPRN**を表示させてから**ENTER** ボタンを押しします。(このときディスプレイは点滅しています)

DOWN / UP ボタンを押し、**no** (通常モード) もしくは **i** (パン反転) のどちらかを選択します。選択が終了したら**ENTER** ボタンで確定するか、何もしない状態で8秒以上経過するとメインメニューに自動的に戻ります。メインメニューに戻りたい場合は**MENU** ボタンを押しします。

TILT チルト反転機能

MENU ボタンを数度押し、**TILT**を表示させてから**ENTER** ボタンを押しします。(このときディスプレイは点滅しています)

DOWN / UP ボタンを押し、**no** (通常モード) もしくは **i** (チルト反転) のどちらかを選択します。選択が終了したら**ENTER** ボタンで確定するか、何もしない状態で8秒以上経過するとメインメニューに自動的に戻ります。メインメニューに戻りたい場合は**MENU** ボタンを押しします。

LED LEDディスプレイ点灯モード

MENU ボタンを数度押し、**LED**を表示させてから**ENTER** ボタンを押しします。(このときディスプレイは点滅しています)

on (ディスプレイ表示) もしくは **off** (ディスプレイ表示しない) を選択します。選択が終了したら**ENTER** ボタンで確定するか、何もしない状態で8秒以上経過するとメインメニューに自動的に戻ります。メインメニューに戻りたい場合は**MENU** ボタンを押しします。

DISP ディスプレイ表示反転機能

※この機能は天井等に吊り下げたときにディスプレイの認識性を向上します。

MENU ボタンを数度押し、**DISP**を表示させてから**ENTER** ボタンを押しします。(このときディスプレイは点滅しています)

DOWN / UP ボタンを押し、**DISP** (標準表示) もしくは **DISP** (ディスプレイ表示反転) のどちらかを選択します。選択が終了したら**ENTER** ボタンで確定するか、何もしない状態で8秒以上経過するとメインメニューに自動的に戻ります。メインメニューに戻りたい場合は**MENU** ボタンを押しします。

FADJ フォーカスアジャスト機能

MENU ボタンを数度押し、**FADJ**を表示させてから**ENTER** ボタンを押しします。本体ヨークの向きが変わり、マニュアルでフォーカスを調整することが出来ます。(本製品には電動フォーカスの機能はありません)
メインメニューに戻りたい場合は**MENU** ボタンを押しします。

TEST セルフテスト

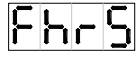
MENU ボタンを数度押し、**TEST**を表示させてから**ENTER** ボタンを押しします。(このときディスプレイは点滅しています)
本体は内蔵のセルフテストプログラムの再生を始めます。メインメニューに戻りたい場合は**MENU** ボタンを押しします。



灯体基板上温度表示

※この機能はLED基盤の最大温度等を知ることにより、環境測定や寿命測定などに役立ちます。

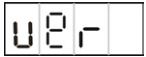
MENU ボタンを数度押し、**TEMP** を表示させてから**ENTER** ボタンを押します。（このときディスプレイは点滅しています） ディスプレイには内部基盤の温度が表示されます。何もしない状態で8秒以上経過するとメインメニューに自動的に戻ります。メインメニューに戻りたい場合は**MENU** ボタンを押します。



累計動作時間

※累計動作時間はユーザー側で変更することができません。

MENU ボタンを数度押し、**Hrs** を表示させてから**ENTER** ボタンを押します。工場出荷後よりの累積動作時間が表示されます。この機能はランプ交換の目安や製品の経年寿命の判定等に用いられるものです。メインメニューに戻りたい場合は**MENU** ボタンを押します。



ソフトウェアバージョン

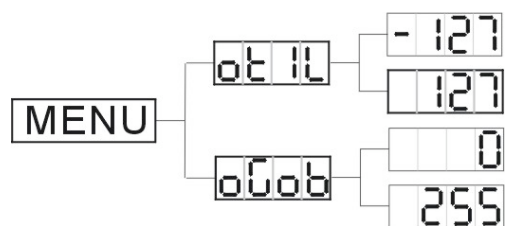
MENU ボタンを数度押し、**Ver** を表示させてから**ENTER** ボタンを押します。現在のファームウェアのバージョンが表示されます。メインメニューに戻りたい場合は**MENU** ボタンを押します。



灯体リセット

MENU ボタンを数度押し、**Reset** を表示させてから**ENTER** ボタンを押します。本体は通常起動時のリセット動作を始めます。メインメニューに戻りたい場合は**MENU** ボタンを押します。

3.2 ホームポジションアジャスト



メイン機能において、**Enter** ボタンを3秒以上押し続けると「ホームポジションアジャストモード」に入ります。ここでは、チルト **0t 1L** およびゴボ **0Gob** のゼロポジション(DMX値を0にしたときの位置)を自由に設定し、記憶させることができます。

DOWN / UP ボタンを押し任意の位置を設定した後 **ENTER** ボタンで記憶します。

メインメニューに戻るには **MENU** ボタンを3秒間以上押し続けるか、8秒間何もせずそのままにします。



4. How To Control The Unit

本体は、以下に掲げる3つの方法で操作することができます。

1. プリプログラム機能を使ったマスター/スレーブ(親子)動作
2. イージーコントローラー(CA-8:別売)による動作
3. 通常のDMXコンソール経由での動作

DMXモードではアドレスを変更した際に本体を再起動させる必要はありません。

毎回電源を入れるとディスプレイには0520と表示され、約20秒間にわたり初期設定動作を行った後、ヨークやホイールのすべてがホームポジションに移り、この後操作が可能になります。それまではDMX信号は受け付けません。

4.1 プリプログラム機能を使ったマスター/スレーブ(親子)動作

この動作はDMXコンソールを必要とせず、すぐに何らかのショーを行いたい場合に大変便利です。

複数の本製品をマスター/スレーブとして接続した場合、自動的に最初の灯体は「マスター」機となり、自動動作かつサウンドアクティブ(音楽同調)動作となり、そのほかの灯体は「スレーブ」(子機)として自動的にマスター機と同じ動作をします。

※この方法は外部からDMX信号を受信しているときには無効になりますのでご注意ください。

このモードを有効にするには、まずショーモード(メインメニューからShndを選択)から、Sh01(ショーモード1)からSh04(ショーモード4)までのいずれかを選択します。このとき、接続した2番目からの灯体はスレーブモードSLndにセットし、SL00(ノーマル)またはSL02(2ライトショー)モードのどちらかを選択します。なお、スレーブ機には本体のSLAVE LEDが点灯します。

2ライトショー

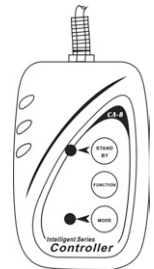
スレーブモードSLndにおいては、SL00は灯体が通常に動作するノーマルモードであり、SL02は2ライトショーを意味します。簡単に迫力あるライティングショーを行うには、スレーブユニットをSL02に設定するとよいでしょう。

4.2 イージーコントローラー(CA-8:別売)による動作

このモードでは別売オプションであるCA-8イージーコントローラーを使用します。

このコントローラーはマスター/スレーブモードでのみ使用します。CA-8の端子を本体側の標準フーン接続端子に挿すだけで簡単なリモートコントロール動作が可能になります。MENU ボタンを押すと、接続されているすべての灯体が一括して動作を始めます。

| | | | |
|----------|--|-----------------------------|---|
| Stand By | すべての灯体をブラックアウトさせます、 | | |
| Function | 1. シンクrostロポ 2. 別バージョンシンク ロストロポ 3. サウンドストロポ | ショー 1-4 | 1. ボタン押しでカラー選 択 2. ボタンホールドでゴボ 選択 |
| Mode | Sound (LED OFF) | Show (LED Slow Blinking) | LED 点灯 |



4.3 通常のDMXコンソール経由での操作

ここでは通常のDMXコンソールを使った操作方法について説明します。



































まず、このモードではそれぞれの灯体のDMXアドレスを1から512までの間で個別に設定しなければなりません。

MENU ボタンを押しAddrを表示させます。次に**ENTER** ボタンを押し(このときディスプレイは点滅している)、**DOWN / UP** ボタンを使って任意のDMXスタートアドレスを設定し、最後に**ENTER** ボタンを押して設定を確認します。設定をやめる場合は何もせず8秒間待つと自動的にメインメニューに戻ります。

本製品はDMX4チャンネル分を使用します。たとえば4台の同じ灯体を使用し、DMXスタートアドレスが1であった場合は、各々のチャンネル設定は以下ようになります。

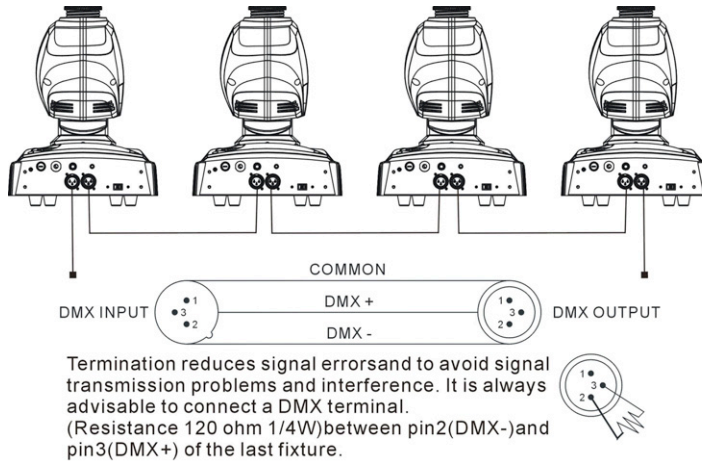


4.4 DMX 512 チャート(英語表記)

| DMX512 Configuration | | | | | | |
|---|---|--|--|---|---|---|
| Ch1 | Ch2 | Ch3 | Ch4 | Ch5 | Ch6 | Ch7 |
| Pan | Tilt | Strobe | Gobo | Color | Gobo Rotation | Dimmer |
|  540° |  270° | 248-255 Open 240-247 Random Strobe 232-239 Open 190-231 Fast open slow close 182-189 Open 140-181 Slow open fast close 132-139 Open 16-131    8-15 Open 0-7 Blackout | 255 Rotation Fast  128 Rotation Slow 120-127   111-119   101-110   092-100   083-091   074-082   064-073   (064-127 Shaking) 056-063  047-055  037-046  028-036  019-027  010-018  000-009  | 255 Rotation Fast  128 Rotation Slow  120-127 Blue 105-119 Yellow 090-104 Green 075-089 Light Blue 060-074 Orange 045-059 Pink 030-044 Light Yellow 015-029 Light Green 000-014 White | 246-255 Stop Fast  135-245 Stop Slow  121-134 Stop Slow  10-120 Fast  0-9 Stop |  255 100% 0 0% |

4.5 DMX512のワイヤリング

DMX512とは1990年に制定されたUSITT規格バージョン2のデジタル照明制御共通プロトコルで、現在最も普及している制御規格です。それぞれの灯体に対し「アドレス」を設定することにより、最大512チャンネル分まで使用することができます。（512チャンネルを総称して「ユニバース」と呼ぶこともあります）



1. お使いのDMXコンソールが5ピンXLRである場合は5ピン→3ピンの変換ケーブルを用いるか、あるいは製作しなければなりません。ピン配列はXLR3ピンと同様で、ピン4/5番は使用しません。
2. 本製品を含むすべての灯体はデージーチェーン接続（渡り接続）として接続しますが、最後尾の灯体には、必ず「ターミネーター」と呼ばれる終端抵抗を接続しなければなりません。ターミネーターはXLR端子の2番ピンと3番ピンとの間に120Ω 1/4Wの抵抗を取り付けます。本製品はオプションでも販売しております。
3. DMXケーブルの接続は常に、必ず「デージーチェーン」接続でなければなりません。Yケーブルなど、分岐ケーブルを使って接続することは認められません。（予期せぬ動作を引き起こしたりメイン基板上の信号の送受信部などにダメージを与えます）もしも分岐が必要であれば必ず光アイソレート出力形のDMXスプリッターと呼ばれる装置(別売)を必ずご使用ください。
4. 本製品のDMX信号送受信は、途中で電源が切れるとバイパスする仕組みになっています。

5. トラブルシューティング

以下に記述する事項は、運用中によくある症状とその解決方法について記述したものです。修理を要請する前に、以下の事項について検討してください。

A. 灯体が動かない、光が出ない、またファンが動かない場合

1. 正しく電源が投入されているかどうかを確認します。電源コネクタがきちんと接続されているかどうか、またメインフューズが切れていないかどうかチェックしてください。
2. コンセント側の電圧を測定し、100V程度あるかどうか確認してください。90V程度ですと動作しないことがあります。
3. もしそれでも電源が入らない場合は、電源ケーブルを交換してみてください。電源ケーブルはお近くのPCショップやホームセンター等で購入できます。
4. パワーLEDが点灯しているかどうか確認してください。

B. DMXコンソールからの操作に反応しない場合

1. 本体のDMX受信ランプが点灯しているかどうかを確認します。点灯している場合はDMX信号を受信していますが、そうでない場合はケーブルの接続に問題があると考えます。
2. もしもDMX受信ランプが点灯しているながら動作しない場合は、DMXアドレスの設定が間違っている可能性があります。設定を再度確認してください。
3. さらに、お使いのDMXケーブルの信号が反転している可能性があります。ケーブルチェッカー等を使って、正しいピン接続かどうかを確認してください。
4. コンソールを換えてチェックしてみてください。また、問題のある灯体をスキップさせて正しい動作をするかどうかを確かめてください。
5. DMXケーブルの設置状況を確認します。高電圧電源などと一緒に配置すると、ノイズがDMXケーブルに混入し正しく動作しない可能性が高いです。

C. イージーコントローラーを使ったときにある灯体だけが動かない場合

1. おおよその問題はDMXケーブルにあります。それぞれの灯体のマスター/スレーブランプが点灯していることを確かめましょう。

D. 音楽同調（サウンドアクティブ機能）に反応しない場合

1. サウンドアクティブ機能はDMXモードでは反応しません。DMX信号受信ランプが点灯していないかどうかを確認します。
2. 本体部のマイクフォンを軽くたたき、動作を確認します。

E. DMXチャンネルのうち1つが正しく動作しない場合

※この場合は修理対応となるケースが多いので、お買い上げいただいた販売店あるいはグラフィカプロダクトサービスチームへのご連絡が必要です。

1. おそらく内部の基盤に異常を来たしていることが考えられます。

6. 本体のメンテナンスとクリーニング

本製品は定期的なメンテナンスを必要とする製品です。4年ごとに当社の指定するサービススポットで製品のメンテナンスもしくはオーバーホールを受けるようにして下さい。

また、1年に1度は当社サービスエンジニアによる定期検査を受けるよう強くお勧めいたします。

当社技術部もしくは指定ディーラーによる定期検査では下記事項が重点的にチェックされます。

1) 内部パーツを含めた全てのコンポーネントを固定するねじがしっかりと取付けているかどうか、またこれらのねじ山がつぶれたり斜めに固定されていないかなど。

2) ランプ点灯回路各種。バラスト（安定器）、イグナイター（点火装置）やコンデンサーなど、一定のランプ出力を得るのに必要な各種部品が正常に作動しているか、またそれらの部品が焼けていたり膨張していたりしていないかなど。

3) ミラー、ヨーク、各種ホイールなど物理的に回転や動きをなす部分が適切に動作するかどうか、またこれらは消耗部品を使用しているため各種コンポーネントが摩耗したりしていないかなど

4) 電源および各種信号線のすべてが熱により劣化していないか、またそれぞれのケーブルが接触不要や短絡を起こしていないかなど。

この他にも、それまでの使用環境や時間などを事前にお聞きし、それぞれにできるだけ対応した検査項目を別途提案させていただきます。

本体を使う際、特に気をつけなければならないのはメンテナンスです。メンテナンスを怠った灯体は製品寿命を著しく縮めてしまいます。

本製品は本体冷却にDCファンを使ったもので、この部分が適切に動作し、エアブローがなされないと各所に著しいダメージを与えます。

さらに本製品は光学製品です。外部レンズについては約20日に1度、内部レンズについては1ヶ月に1度程度、ファンに対してはブローもしくは掃除機等を使って埃を外から取り除くようにして下さい。また、レンズ部は以下の容量に従ってクリーニングします。

- 市販のガラスクリーナーとウェスを使います。
- 本体カバーを開け、レンズの外側と内側にある汚れをていねいにふき取ります。
- このとき、クリーナーがほかの電子パーツ等にかからないよう注意して下さい。あらかじめウエスに少しだけ吹き付けてから拭くようにします。

製品の保証とアフターサービス

この製品は厳しい出荷前製品検査を経て出荷され、また国内到着後当社の厳密な検査にも合格した上で出荷されたものです。しかしながらご使用中に万一製造上の不備による故障が発生した場合は、製品に同梱している保証書に記載された保証規定に従い保証期間に限り無償修理致します。

なお、本製品の保証期間は販売店よりお買い上げの日より換算して1年間です。

また、本製品は下記輸入元の正式な手続きを経て輸入されており、それ以外のいかなる者により国内に調達された製品に関してはどのような場合にあっても製品保証の対象外とさせていただきますのであらかじめご了承ください。

詳しい保証内容等につきましては、添付の製品保証書をご覧ください。

This warranty program is valid only in Japan.

【修理に関する御相談先】

▼国内輸入総代理店

グラフィカ株式会社 技術開発部 プロダクトサービスチーム

電話 086-239-0010 FAX：086-239-0020

〒703-8265 岡山市中区倉田295-15

メールでのお問い合わせは：service@graphica.ne.jpまでお願いします。

【グラフィカからのお願い】

グラフィカではお客様へのサービス向上精神を追求するため、より迅速できめの細かいサービスを心がけております。

そのためにユーザーさまに数点のお願いがあります。

- ※ 製品を送付される前に必ずお電話、メール、ファックス等で事前の連絡をお願いします。その際、症状やその頻度などを詳しくお知らせください。ほとんどの場合が電話等による相談サービスで解決しますが、修理が必要と判断したときには修理受付番号を申し上げますので番号をお手元にお控えいただき、弊社にお送りいただきます様をお願いします。また、無償修理の場合保証期間内であることが証明された「製品保証書」が必要になります。それ以外の修理はいかなる場合においても有償となりますのでご了承ください。
- ※ 初期不良交換および初期不良修理以外における無償期間修理対応を含めた弊社向けの送料はまことに勝手ながらお客様負担となります。着払いでお送りいただいたとしても、商品返却時に実費をご請求いたしますので、あらかじめこの点だけはご了承ください。
- 本製品に関する保証制度は、販売店よりご購入したオリジナルユーザー（最初のユーザー）のみ有効です。保障期間内に譲渡された場合、被譲渡者には保証制度の一切の権利は継承されません。